

対 象 機 種	フランジタイプ		システムアップタイプ	
	QT-1500GF (S) / (K)	QT-1500F (S) / (K)	QT-1500GP (S) / (K)	QT-1500P (S) / (K)
適合ランプ (別売)	東芝ネオハロクールH JD 1 1 0 V 1 3 0 W N P - E H			
適合反射板 (別売)	QT-151 (R), QT-151 (B), QT-151 (Y), QT-151 (G), QT-151N, QT-151M, QT-151W			

このたびは東芝照明器具をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

●照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事店様へ施工上のご注意 ●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

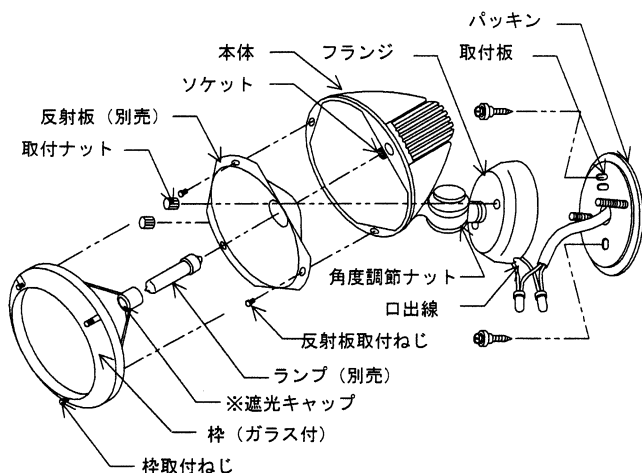
警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	
●器具の取り付けには方向性があります。本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。指定以外の取り付けを行うと器具落下、感電、火災の原因となります。 ●電源線接続の際は、取扱説明書に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。 ●器具と被照面との距離は100cm以上離してご使用ください。照射距離が指定よりも近すぎると、被照射物の変質、変色、火災の原因となります。	 取り付け
●アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。〔D種（第三種）接地工事〕 ●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。器具落下、感電、火災などの原因となります。	 使用環境
●この器具は、揮発性引火物のある場所には使用できません。そのまま使用しますと火災の原因となります。	 使用環境
注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。	
●器具（ランプ）の定格電圧と電源電圧（定格±6%）は、器具の取り付けの際に必ずご確認ください。間違えて使用しますとランプなどの短寿命、火災の原因となります。 ●器具に100cmを超えて積雪する可能性のある場所では使用しないでください。そのまま使用しますと器具落下の原因となります。（使用する場合は必ず除雪を行ってください。）	●この器具は、海上や海に直接面した重塩害地域では使用できません。また、海岸に近い塩害地区にも使用できません。早期の錆発生、器具落下の原因となります。 ●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用できません。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。 ●この器具は、激しい振動・衝撃の加わる場所・常時振動している場所には使用できません。そのまま施工されますと、落下の原因となります。 ●この器具は、防湿形ではありませんので、湯気、湿気の多い場所には使用できません。湿気の浸入による絶縁不良、感電の原因となります。 ●前面ガラスが高温になりますので、人が容易に触れるおそれのある場所では使用しないでください。やけどの原因となります。 ●枯葉などが前面ガラスに舞い落ちる場所ではアクセサリと組み合わせて使用しないでください。火災の原因となります。 ●冠水のおそれのある場所には使用しないでください。浸水による感電の原因となります。

■お客様へ 使用上のご注意 ●お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。	
●ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。器具落下、感電、火災の原因となります。 ●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 ●ランプ交換などにより、ランプ、反射板などを外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備がありますと水、水気の浸入により絶縁不良、感電およびランプ、反射板の落下の原因となります。 ●ランプの交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類、ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外の場合、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。	 ランプ交換
●保護シールド付器具は、万一保護シールドが破損した場合、使用を中止し、正常な器具に交換するかまたは、正常な保護シールドに交換してください。そのまま使用しますと、万一ランプが破損した場合、やけど、火災の原因となります。	 保護シールド
●ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。火災の原因となります。	 可燃物
注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。	
●照明器具には寿命があります。 ●設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。（JIS C8105-1解説による。） ●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 ●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 ●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。	 保 守

■各部のなまえ フランジタイプ

※遮光キャップは、カラーメタクール反射板のみに付属されています。



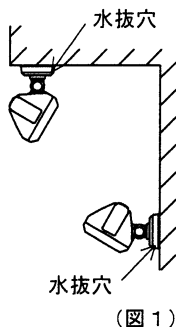
■器具の取り付けかた フランジタイプ

1. 壁面と取付板の面にバックンははさんでください。また電源線をバックンと取付板の中央部の穴を通して150mm程度引き出してください。(取付板の取り付け方向は表示に従ってください。)
2. 電源線と口出線を結線してください。結線部に自己融着テープを用いて絶縁処置を行ってください。

⚠ 警告

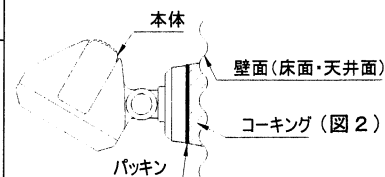
絶縁処置を怠ると絶縁不良、感電の原因となります。

3. アース線をフランジ内のアース端子に接続してください。
4. フランジを取付板にかぶせ取付板のねじをフランジの貫通穴に通してください。この際水抜穴は下向きになるようにセットしてください。(図1)
5. 取付板のねじにナットをねじ込みフランジを固定してください。
6. ランプをソケットに取り付けてください。
7. 別売の反射板を反射板取付ねじで取り付けください。カラーメタクール反射板を使用する場合は、遮光キャップを反射板にバネで固定してください。
8. 枠(ガラス付)を本体に枠取付ねじ3本で本体にしっかりと均一に締め付けてください。(図1)
9. 本体を回転し、照射方向に合わせてください。
10. 角度調節ナットをゆるめ照射角度に合わせた後、再びナットを締め付けてください。本体を前後に揺すりながら、確実に固定されていることを確認してください。



⚠ 警告

本体を取り付ける際、壁面(床面・天井面)に凹凸(タイル貼り等)がある場合は、本体との取付面を平滑にするために必ず、バックンと壁面等の間をコーキングしてから取り付けください。コーキングせずにそのまま凹凸面に取り付けて施工しますと水、水気の浸入により絶縁不良、感電の原因となります。なおかつ電源穴は内側からコーキング処理を施してください。感電の原因となります。(図2)

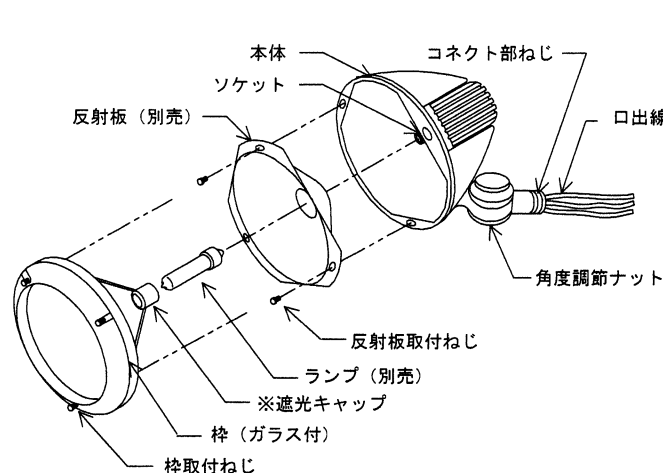


保証について

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- ・ランプ、点灯管、蓄電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

システムアップタイプ

※遮光キャップは、カラーメタクール反射板のみに付属されています。



システムアップタイプ

必ず適合のアーム、アダプター類と組み合わせて使用してください。

1. 適合取付金具のアーム、スパイク類との接続、施工が終了したことを確認してください。(適合の取付金具との接続のしかたはそれぞれの取扱説明書をご参照ください。)

適合アーム	CF-75(S) / (K)
適合スパイク	CF-117(S) / (K)
適合1灯用アダプター	AD-100(S) / (K)
適合1灯用アーム	JAT-1010(S) / (K)
適合2灯用アーム	JAT-2020(S) / (K)

2. ランプをソケットに取り付けてください。
3. 別売の反射板を反射板取付ねじで取り付けください。カラーメタクール反射板を使用する場合は、遮光キャップを反射板にバネで固定してください。
4. 枠(ガラス付)を本体に枠取付ねじ3本で本体にしっかりと均一に締め付けてください。

⚠ 警告

誤った取り付けかたをすると水、水気の浸入により絶縁不良、感電の原因となります。

5. 本体を回転し、照射方向に合わせてください。
6. 角度調節ナットをゆるめ照射角度に合わせた後、再びナットを締め付けてください。本体を前後に揺すりながら、確実に固定されていることを確認してください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料: 無料)

受付時間: 365日 9:00~20:00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料: 有料)

FAX 0570-000-661 (通信料: 有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社 照明器具事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

TEL (046) 862-2097

FAX (046) 861-8796

お客様は、お読みになったあとも必ず保存してください。

(054009D)